

固い！太い！重い！葉折れ無しネギ栽培

栽培のポイント

●初期はMリンPKとPフォスタで根づくり！

ネギの根っこはデリケート。生育期間中、ずっと活力ある根を維持できれば、天候不順の被害軽減だけでなく秀品率も上がります。それには定植直後から根づくり重視。

Pフォスタ 1000 倍液の葉面散布で発根・活着力を高めよう。

●土寄せ毎に、MリンPKで窒素の消化を！

ネギは窒素要求量が高い。しかし、窒素だけ効かせると、葉は長く伸びて折れやすく、病気にも弱くなります。

MリンPKで“窒素の消化力”を高めて、節間の詰まった「肉厚で太い」重量感あるネギにしよう！

●「病気に強い」・「倒伏しない」耐病性強化して秀品栽培

病気になるネギは軟らかく、多雨・多湿は病気リスクが高まる。

MリンPKのリン酸とカルシウムは窒素過多解消、細胞強化で病気に強いネギになります！



病気に強い詰まったネギ

春夏ネギの施肥提案（1 a = 30 坪）

資材名	元肥	追肥① (生育初期の追肥)	追肥② (最盛期以降の追肥)
MリンPK	5 kg	3 ~ 4 kg	3 ~ 4 kg
バクヤーゼK	60 kg	—	—
NK化成	2 ~ 3 kg	2 ~ 4 kg	2 ~ 4 kg

定植直後からPフォスタ 1000 倍液を
随時、葉面散布！ 根づくり最優先！

最後の仕上げまで油断は禁物！ゲリラ豪
雨に備えて、常にMリンPKの準備を！

天候不順＝ピンチじゃない！

初期段階から根を元気にする！多雨⇒根腐れ、
干ばつ⇒活力低下とはもうサヨウナラ！

サビ病・べと病・黒腐れ病

降雨後にはリーフアップバリアの 500 倍液で
体質を強化して、予防をしましょう。

